



平成 26 年度 京都検定講演会【東京】

第 2 部 15:30~17:30

歴史と文化の「動乱と変乱、そして復興の町、京都」

～ 歴史と文化を知らなければ見えてくる “京都の魅力再発見” ～

主催：京都商工会議所 協力：京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス

なぜ平安京に遷都したのか。平安時代の書である『日本紀略』には、この都を「山川も麗しく、四方の国の百姓の参出(まい)で来る…此の国山河襟帯、自然に城を作(な)す…」と叙しています。それから一二〇〇年以上が過ぎ、京都ではこれまでどんな政治がなされ、いかなる人びとが暮らしてきたのか。地震、飢饉、天災、大火、疫病、そして動乱など、なんども危機や困難に遭遇してきた京都。それでも京都は、つねに不死鳥のように甦って、新しい文化と思想潮流をたずさえて復興してきました。そんな京都の“再生”の秘密を、さまざまな歴史的な事件をテーマに、わかりやすくお話しします。

回数	開催日	テーマ	講座のポイント
1	10月4日 (土)	“平安遷都、と嵯峨天皇の「文章経国」とは？ 「薬子の変」と「三筆」の出現 「此の国山河襟帯自然に城を作す」	平安遷都から十数年。平城京に残った平城太上天皇とその側近、藤原薬子と兄の仲成。一方、嵯峨天皇と側近の藤原冬嗣。両者にわたかまる対立が、ついに謀叛となります。その後の嵯峨天皇の「文章経国」の政治とは何か？平安初期の京都を探訪します。
2	11月1日 (土)	“摂関政治、と浄土への希求とは？ 「安和の変」と『往生要集』の出現 「それ往生極楽の教行は、濁世末代の目足なり」	藤原摂関政治の華麗な文化が華ひらいている一方で、人びとの多くは浄土への希求が高まっていました。現世での栄達富貴の願いと来世での極楽浄土への希求。空也や源信が説いた阿弥陀仏へ帰依と浄土往生の教え。平安時代全盛期の京都を探訪します。
3	12月6日 (土)	“土一揆、の発生と東山文化の隆盛とは？ 『応仁記』と足利義政の東山造営 「汝ヤシル都ハ野辺ノ夕雲雀アガルヲ見テモ落ルナミダハ」	「向辺の土民蜂起す。土一揆と号し、御徳政と称して借物を破り…質物を請く」。室町時代の京都、土一揆の頻発、応仁の大乱の勃発。まさに無秩序な状況でした。そのなかで八代將軍足利義政は東山の造営をはかる。乱世の京都を探訪します。
4	1月10日 (土)	“千年都市、京都と秀吉が造作した「聚楽第」とは？ 「唐御陣」と秀吉の都市計画 「百工心を碎き、丹青手を尽し侍りしか、華麗もっとも甚だし」	天下人秀吉は、なぜ聚楽第を造営し、京の町をぐるりと囲む御土居の建設を進めたのか。それとともに巨大な方広寺の建設。そして突然の「唐御陣」と北野の大茶会。秀吉が京都の町に思い描いた“千年都市”とは何か。近世初期の京都を探訪します。
5	2月7日 (土)	“尊皇攘夷、と「ええじゃないか」の乱舞とは？ 「新選組」の出現と「王政復古の号令」 「此時ニ当リ京師ニ一大快事アリ。空中ヨリ神符細クト飛ビ降り如クノ人家ニ落ツ」	白刃が血に飢えたようにギラリと光る幕末の京都。“尊皇攘夷”を呼号する討幕派志士と殺人剣をひっさげた新選組の激突。そんな京の町に降り落ちる伊勢の御札。そして突然巻き起こった「ええじゃないか」の乱舞。王政復古、幕末の京都を探訪します。
6	3月7日 (土)	“文明開化、と島津源蔵が揚げた軽気球とは？ 「京都再興」と第一回京都博覧会開催 「一ハ知識村ヲ啓開スルノ導線トナシ、一ハ満都衰色ヲ復活スル」	“御一新”を機に、京都は衰微の一途をたどります。いかにして京都再建をはかるか。人びとはまず番組小学校の開設と各種の上級学校を開校し、同時に殖産興業に活路を見出します。そんなとき島津源蔵があげた軽気球。明治開花期の京都を探訪します。

※ 内容は変更になる可能性があります

【時間】 各回 15:30~17:30

【受講料】 各回 2,000円 (レジュメ含む)

※ 全6回一括お申込みに関り、お1人様9,600円(2割引)の特別価格となります。

【定員】 各回 150名 (定員になり次第締め切ります)

【会場】 ①(第1・3・5・6回) 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス
(東京都港区北青山1-7-15) JR総武線「信濃町」徒歩5分
東京メトロ半蔵門線・銀座線「青山一丁目」、都営地下鉄大江戸線「青山一丁目」徒歩10分

③(第2・4回) TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
(東京都新宿区市谷八幡町8) JR総武線「市ヶ谷」徒歩3分、東京メトロ南北線・有楽町線「市ヶ谷」より徒歩5分、都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」より徒歩5分

【講師】 八柏 龍紀 (やがしわ・たつりの) 氏

慶應義塾大学法学部・文学部卒。高等学校教員を経て社会評論、歴史哲学研究などの執筆活動を展開。2000年から東京大学駒場キャンパスで自主講座を開講。2010年は非常勤で自由ゼミを担当。歴史学・哲学講座、雑誌週刊誌の書評委員など講座や講演、執筆活動を行う。著書には『セピアの時代』(大和書房)、『日本の歴史ニュースが面白いほどわかる本』(中経出版)、『「感動」禁止』(ベスト新書)などがある。



【お申込み方法】

- ① 受講料を下記振込口座にお振込み下さい。(振込手数料はご負担下さい)
- ② 「受講申込書」に必要事項をご記入の上、「受講申込書」と「振込金領収証のコピー」を一緒に、郵送もしくはFAXで下記申込先までお送り下さい。

受講料振込口座 京都銀行 本店営業部 普通預金 4085210「京都商工会議所」

【注意事項】

- (1) 受講申込書のご提出と受講料のお振込みをもってお申込み完了となります。
「受講証」は開講日1週間前を目処にお送り致します。
- (2) 既に納入いただきました受講料は、定員を超えてご参加いただけない場合や講演会中止のほかは、返金致しかねますので予めご了承ください。
- (3) 原則として本講演会のキャンセル・日程変更は受け付けておりません。代理受講は可能です。ご欠席の場合は資料を後日送付致します。
- (4) 都合により、会場、日程、タイトルの変更がある場合がございます。

【お申込み・お問い合わせ先】 京都商工会議所 会員部 京都検定講習係
 〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル [地下鉄烏丸線「丸太町」6番出口スグ]
 TEL 075-212-6416 FAX 075-222-2612 e-mail:school@kyo.or.jp
<http://www.kyotokentei.ne.jp/>

-----切-----り-----取-----り-----線-----
 FAX : 075-222-2612

平成26年度 京都検定講演会[東京開催]
「動乱と変乱、そして復興の町、京都」 受講申込書 @2,000.-

氏名	ふりがな	[受講料振込] <div style="text-align: right;">銀行/信金 支店より</div> <div style="text-align: center;">(月 日 _____ 円 振込完了)</div>
	漢字	
[希望講座] ご希望回の <input type="checkbox"/> 欄にチェックし、合計金額をご記入ください ◆ 1回毎のお申込み お1人様 2,000円 ◆ 全6回一括お申込み お1人様 9,600円(2割引) <input type="checkbox"/> H1 (10/ 4) 「薬子の変」と「三筆」の出現 <input type="checkbox"/> H2 (11/ 1) 「安和の変」と『往生要集』の出現 <input type="checkbox"/> H3 (12/ 6) 『応仁記』と足利義政の東山造営 <input type="checkbox"/> H4 (1/10) 「唐御陣」と秀吉の都市計画 <input type="checkbox"/> H5 (2/ 7) 「新選組」の出現と“王政復古の号令” <input type="checkbox"/> H6 (3/ 7) 「京都再興」と第一回京都博覧会開催 <input type="checkbox"/> 2,000円×計_____回受講 合計金額_____円 <input type="checkbox"/> 全6回一括お申込み 合計金額_____円 既納の受講料に関しては返金致しませんのでご了承ください。		
[現住所(お住まい)] 〒 _____		
TEL _____ FAX _____		
[緊急連絡先] (臨時休講・会場変更など緊急の場合、昼間にご連絡致します) TEL _____ FAX _____ ※上記電話は、 <input type="checkbox"/> 自宅(携帯電話などを含む) / <input type="checkbox"/> 勤務先 です。		

※本申込書にご記入頂いた個人情報(京都商工会議所の検定、講座実施に必要な業務、事務、各種情報提供)のみの目的に利用します。()